

■米国：ハワイアン・エレクトリック社とネクストエラ・エナジー社が合併

2014年12月3日付ホノルル発の報道によれば、ハワイアン・エレクトリック社（オアフ島）、マウイ・エレクトリック社（マウイ島）、およびハワイ・エレクトリック・ライト社（ハワイ島）の親会社であるハワイアン・エレクトリック・インダストリー（HEI）社と、フロリダ・パワー&ライト社の親会社であるネクストエラ・エナジー社が、合併することを発表した。合併した後も、ハワイ諸島のこれらの会社は、呼称、本社所在地ともそのまま残り、また最低2年間は従業員の削減もないという。ただし、現在HEIグループの一員であるアメリカン・セイビング・バンク（ASB）は合併の対象からは除かれる。合併の目的としては、両社とも、それぞれの地域社会にクリーンエネルギーをもたらすという共通の目標を実現すること、としている。地元では、ディビッド・イゲ・ハワイ州知事やメイジー・ヒロノ上院議員などがこれを歓迎している。両社は、今後60日以内にハワイ州公益事業委員会（HPUC）に合併承認申請を提出する予定である。HPUCの承認に加えて、HEIの株主による承認、独禁法上の届け出義務、連邦エネルギー規制委員会の承認、証券取引委員会の承認や、ASB除外に伴う規制当局の諸手続きなどがある。